

最近の県内経済 (2022年11月を中心として)

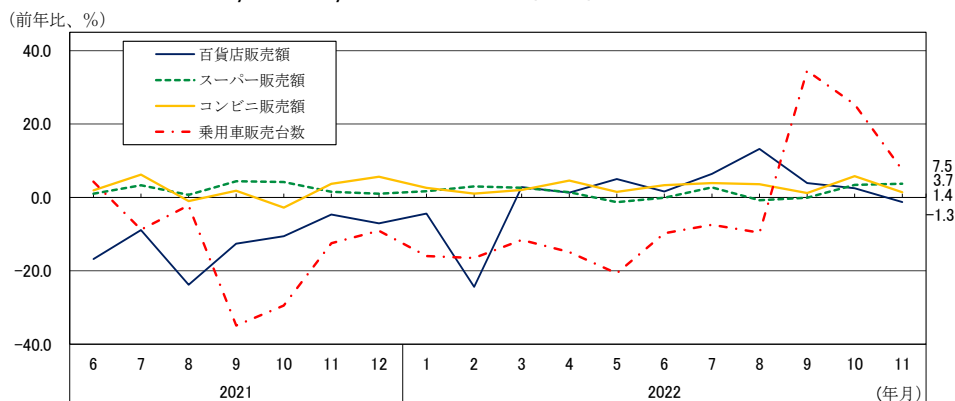
2023年1月31日

今月の概要

緩やかに持ち直している。

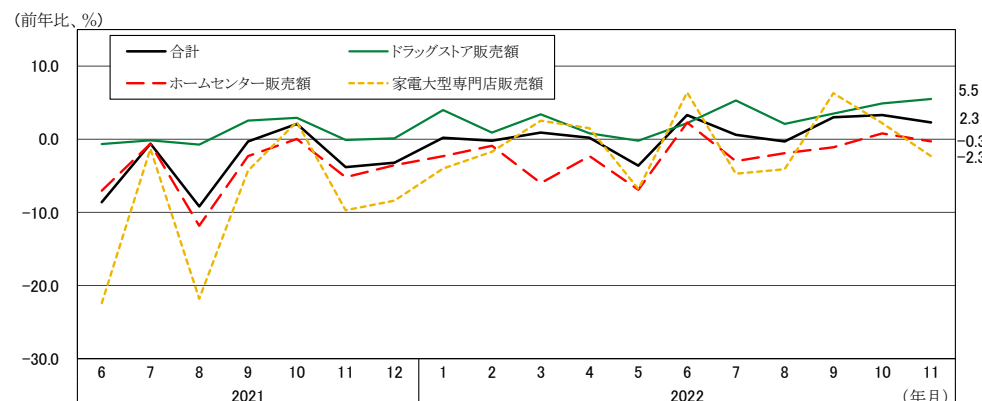
1 個人消費 ~持ち直しの動きが続いている

百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



(資料) 経済産業省

個人消費は、持ち直しの動きが続いている。

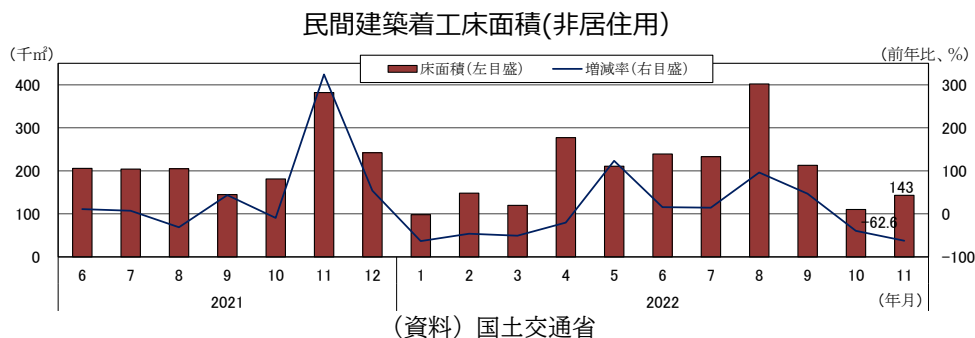
11月の百貨店およびスーパーの販売額（店舗調整前）は、百貨店が114億円で前年比1.3%減（9か月ぶりの減少）、スーパーは977億円で同3.7%増（2か月連続の増加）となった。また、コンビニ販売は544億円で同1.4%増と、13か月連続の増加となった。感染症対応と経済活動の再生が進む中、外出需要が回復している。

また、乗用車販売は、前年比7.5%増と3か月連続の増加となった。内訳をみると、小型車は同0.9%減と3か月ぶりの減少となったものの、普通車が同4.6%増、軽乗用車が同17.0%増とそれぞれ3か月連続の増加となった。部品の調達遅延や半導体不足の影響が徐々に緩和している。

11月の専門量販店販売額は、714億円で前年比2.3%増と3か月連続の増加となった。内訳をみると家電大型専門店が161億円で同2.3%減（3か月ぶりの減少）、ドラッグストアが382億円で同5.5%増（6か月連続の増加）、ホームセンターが170億円で同0.3%減（2か月ぶりの減少）となった。

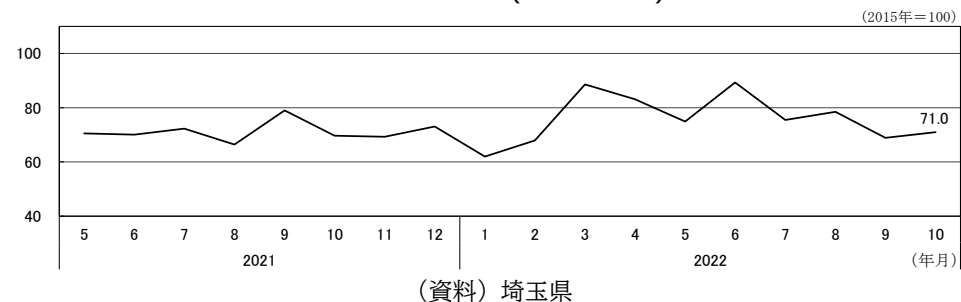
関東1都6県の消費者態度指数（原数値）は、10月〈31.2〉、11月〈3.03〉、12月〈31.6〉で推移している。

2 設備投資 ~持ち直している



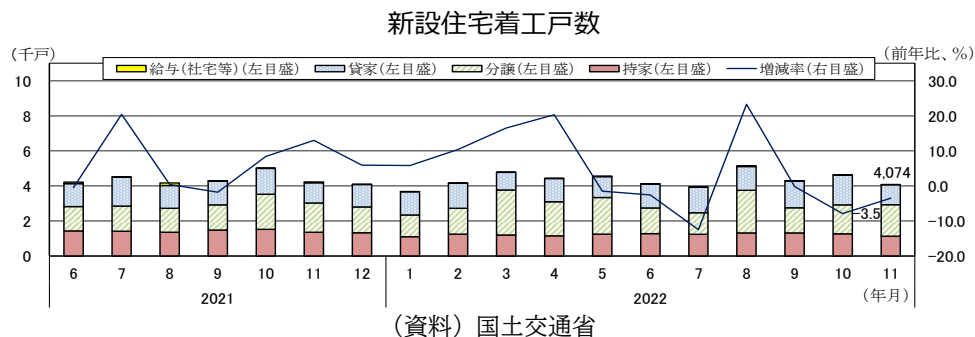
11月の民間建築着工床面積(非居住用)は、143千㎡で前年比62.6%減と2か月連続の減少となった(5か月後方移動平均でも前年比1.4%減)。用途別にみると、事務所は増加したものの、店舗、工場及び作業場、倉庫、病院・診療所がいずれも減少した。

資本財出荷指数(季節調整済)



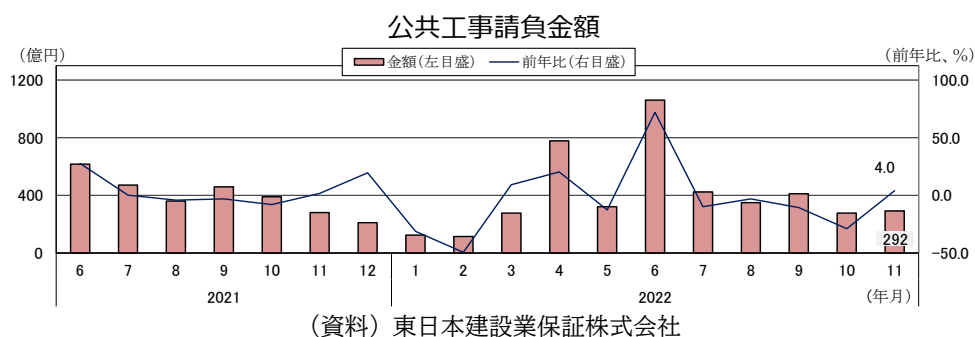
10月の資本財出荷指数(季節調整済)は71.0で、前月比3.0%増と2か月ぶりの増加となった(5か月後方移動平均では、前年比0.8%減)。

3 住宅建設 ~横ばいとなっている



11月の新設住宅着工戸数は、4,074戸で前年比3.5%減と3か月連続の減少となった(5か月後方移動平均は0.7%減、2か月連続の減少)。利用関係別にみると、分譲マンション(500戸)が同53.4%増となったものの、持家(1,125戸)が同16.7%減、貸家(1,146戸)が同0.3%減、分譲一戸建(1,297戸)が3.8%減といずれも減少した。

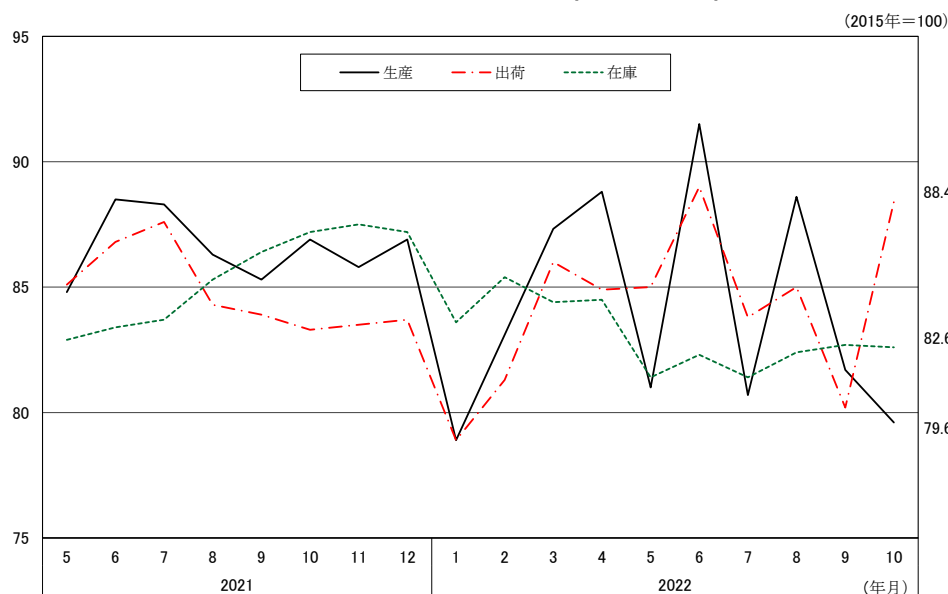
4 公共工事 ~横ばいとなっている



11月の公共工事請負額は292億円、前年比4.0%増となった(5か月ぶりの増加)。5か月後方移動平均では前年比10.6%減で推移。発注者別で見ると、市区町村、地方公社は減少したものの、国、独立行政法人等、都道府県は、いずれも増加した。

5 生産活動 ～一進一退

鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)



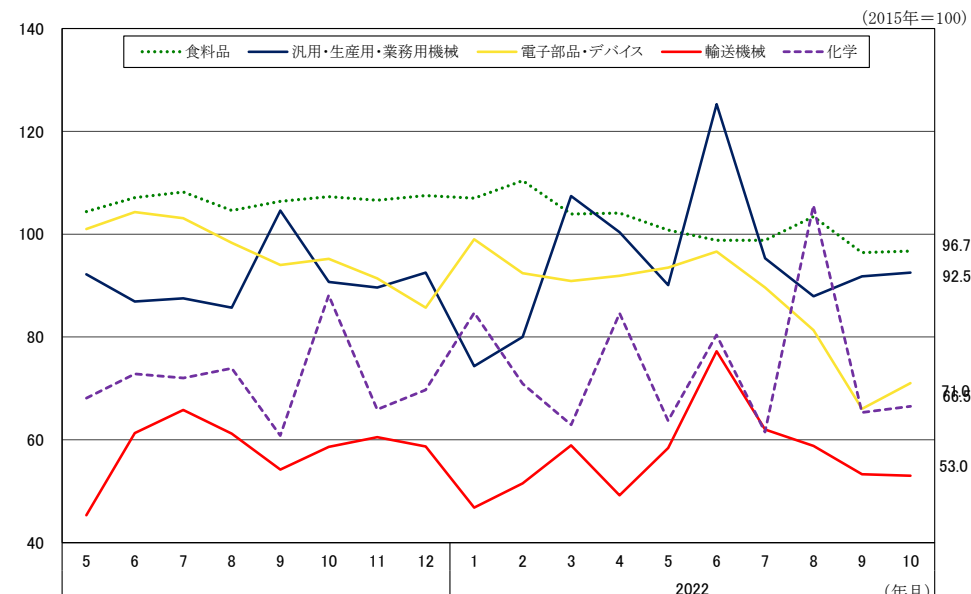
(資料) 埼玉県

10月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、79.6で前月比2.6%低下した。(2か月連続の低下)。汎用機械(空気圧機器、固定比減速機)、業務用機械(医療用機械器具、試験機)などが上昇したが、木材・木製品(特殊合板、製材)、生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、マシニングセンタ)などが低下した。

出荷指数(同)は、88.4で同10.1%上昇(2か月ぶりの上昇)。木材・木製品(特殊合板、製材)、生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、マシニングセンタ)などが低下したが、化学(医薬品、化粧品)、汎用機械(空気圧機器、コンベヤ)などが上昇した。

在庫指数(同)は、82.6で同0.1%低下した(3か月ぶりの低下)。鉄鋼(鋼半製品、普通鋼小形棒鋼)、パルプ・紙・紙加工品(段ボール原紙、特殊印刷用紙)などが上昇したが、輸送機械(乗用車、けん引車)、電気機械(クッキングヒーター、食器洗い乾燥機)などが低下した。

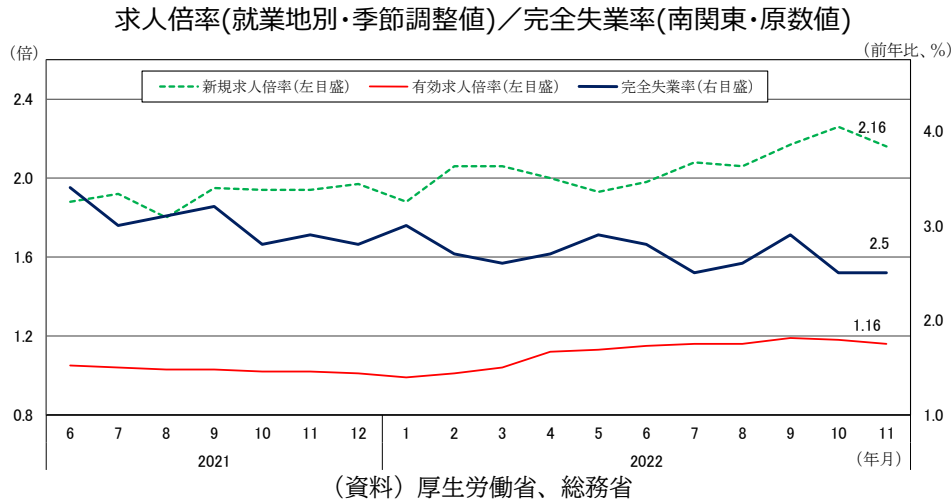
主要業種の生産指数(季節調整済)



(資料) 埼玉県

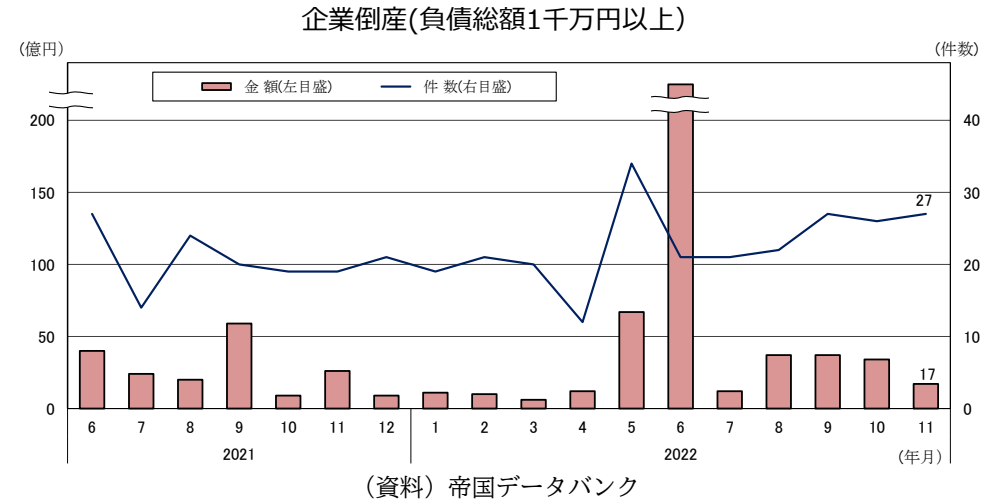
- ◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、96.7で前月比0.3%上昇、2か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 汎用・生産用・業務用機械(同)は、92.5で同0.8%上昇、2か月連続の上昇となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は、71.0で同7.6%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 輸送機械(同)は、53.0で同0.6%低下し、4か月連続の低下となった。
- ◆ 化学(同)は、66.5で同1.8%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。

6 雇用情勢 ～穏やかに持ち直している



11月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.16倍で前月比0.02ポイント低下した(2か月連続の低下)。また、新規求人倍率(同)は、2.16倍で前月比0.10ポイント低下した(3か月ぶりの低下)。
完全失業率(南関東、原数値)は、2.5%で前年同月比0.4ポイント低下した(前年同月比9か月連続の低下)。

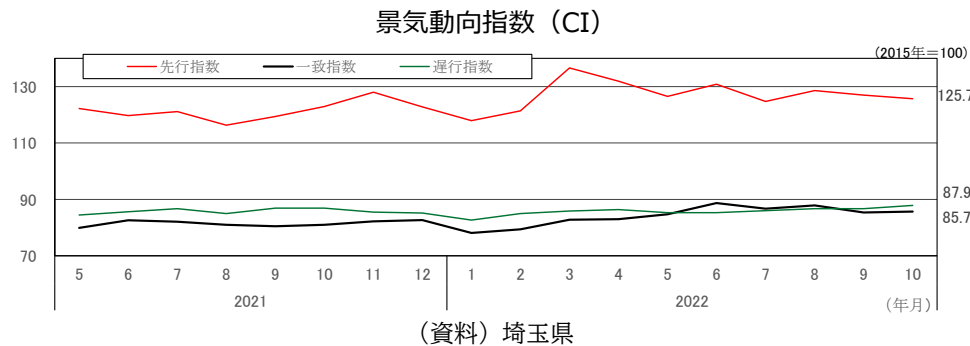
7 企業倒産 ～低水準で推移



依然として低水準で推移している。
11月の企業倒産件数は、27件で前年同月比8件の増加となった。負債総額は17億円で同9億円の減少となった。
業種別にみると、建設業が最多で7件、次いで卸売業が5件、製造業、運輸・通信業、サービス業がそれぞれ4件と続いている。主因別では、販売不振が22件となっている。

〈参考〉

景気動向指数(CI) ～改善を示している



- 10月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、85.7で前月比0.3ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、125.7で同1.3ポイント下降し、2か月連続の下降となった。
- CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、87.9で同1.2ポイント上昇し、3か月ぶりの上昇となった。